

トレッキング向け レインウェアの えらび方



HOW TO START OUTDOOR
 RAIN WEAR

名称と役割



1 ベンチレーション
 生地が大きく開いており、そこから蒸れを逃がせる機能です。長時間の着用が予想される場合に着心地が全く違ってきます。

2 リフレクター
 光を反射する機能。暗い場所や夜間での視認性を高めます。

3 裾スナップ
 長い裾を足首にフィットさせたり、ばたつきを防ぐためについているスナップボタンのこと。レインウェアのパンツには大抵ついていて機能です。

4 シームレステープ
 レインウェアの生地と生地を縫い合わせた繋ぎ目からの浸水を防ぐ為に貼られるテープのこと。

5 止水ファスナー
 特殊なフィルムでカバーして撥水加工を施してあるファスナーのこと。縫い目が従来のファスナーと違いびったりと合わさるのが特徴。布がかぶさっているものは止水ファスナーではありません。

6 メッシュ
 網目状になった通気性の良い布で、裏地に使われることが多いです。レインウェアの生地が、肌に触れるのを防いでくれるので、快適な着心地を保てます。

テフロン
 撥水機能のこと。正しくは撥水加工で、フライパンなどにも使われる樹脂加工です。防水透湿性の布の最上部に使われます。

サイズ・重さ

「大きすぎず 小さすぎず」が基本です。

標高がある高い山では、下にフリースなど重ね着する機会があるので、着込んでも動きにくいサイズをお選びください。

重さについて

男性は 600g 台、女性は 500g 台を目安に。登山の時の必需品ですが、天気の良い日はただの荷物なので、軽さや収納時のコンパクトさも選ぶ時のポイントになります。



登山三種の神器（登山靴・登山用ザック・レインウェア）の1つ レインウェアの必要性

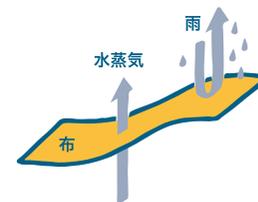
登山途中の雨は、身体に当たると冷えて体温を奪っていきます。そのままにしておくと低体温になったり、不快感につながり、活動の妨げになってしまいます。登山ではジャケットとパンツに分かれた、上下セパレート（別）タイプが必須です。動きやすいのはもちろん、悪天候時には横なぐりの雨や、時には下から雨が吹き上がってくる時に雨の侵入を防ぎます。ただ、2〜3時間で帰ってこれる標高の低い山に行く場合は、防風・撥水など高機能のジャケットを持っていき、レインウェアの代わりにするのもオススメです。ジャケット1枚なので、荷物が少なくなります。



選ぶポイントになる機能

防水透湿素材

「内部に溜まった湿気は外に排出し、外部からの水は中に通さない」そんな性質を持った素材のことを言います。ほとんどの透湿防水素材はフィルム状の素材を撥水性のある表地と吸水性や肌触りの良い裏地でサンドウィッチするような構成になっています。



そのフィルム状の素材には超微細な穴が開いています。超微細な穴は雨や水滴より小さく、水蒸気分子よりは大きいため、雨や水滴は通過することが出来ず防水性を保ち、水蒸気は通過&発散できるため透湿性を確保するという一見相対する機能を両立しています。

撥水性



「撥水」とは「生地の表面についてた水をはじく機能」のことです。水をはじく機能をあとから布にプラスしたものです。

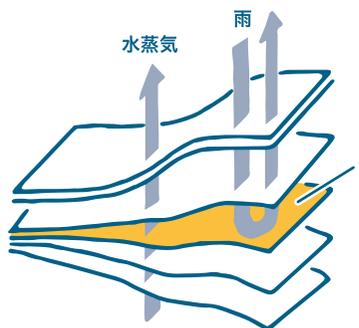
耐水圧



1cm四方の筒口に水を注ぎ、布から水が染み出す圧力の単位です。数値が高ければ、水が染みにくいということです。

防水透湿性について

ゴアテックス



ゴアテックスは、アメリカのWL ゴア & アソシエイツ社が製造販売する防水透湿性素材の商標名。

ゴアテックス メンブレンは1cm四方に14億個の微細な孔をもちます。その最大の特徴は、防水性と透湿性を両立させていることにあります。

つまり、水蒸気は通すが雨は通さない素材のことです。

ゴアテックス

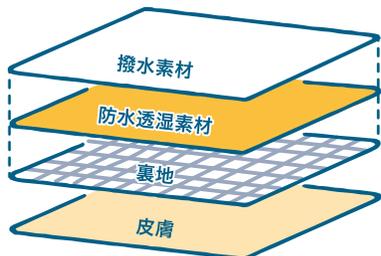
ゴアテックス以外

透湿素材を代表するゴアテックスですが、各メーカーでも透湿素材の開発や研究が進んでおり、それぞれ違う名前と呼ばれています。

- ノースフェイス ▶ HyVent/Hyvent-D/HYVENT ALPHA/FUTURELIGHT
- パタゴニア ▶ H2No パフォーマンス・スタンダード・シェル
- コロンビア ▶ オムニテック (OMNI-TECH)
- モンベル ▶ ドライテックなど
- ファイントラック ▶ EVER BREATH (エパーブレス)

ストレッチが効いたり、軽量化されているものもあります。用途に応じてさまざまな透湿素材をためてみましょう。

3 レイヤー



- 透湿性
- 軽さ
- 耐久性
- 値段

オールシーズン

一般的に透湿素材に表地や裏地を貼り合わせて作られた3層構造のもの。裏地があるため耐久性が高くなっています。汗によるベタつきが少なく、サラッとした着心地が続くので、登山やキャンプなどオールラウンドに使えます。初心者からベテランまでの一般的な登山者や、長持ちするウェアがほしい方にオススメです。

2.5 レイヤー

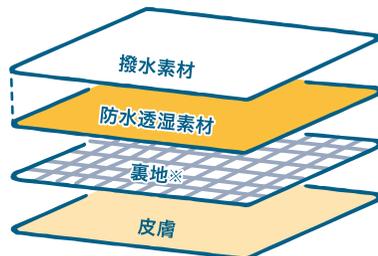


- 透湿性
- 軽さ
- 耐久性
- 値段

3 シーズン

2.5 レイヤーの透湿素材です。肌面にほどこしたメッシュ状の特殊コーティングにより、これまでにないドライな肌触りを実現しています。従来の3層素材に比べて軽量、ソフト、コンパクトなのが特徴です。3レイヤーと2レイヤーのいいとこ取りですが、3レイヤーに比べ耐久性が弱くなっています。

2 レイヤー



- 透湿性
- 軽さ
- 耐久性
- 値段

3 シーズン

透湿素材に表地を貼り付けたもの。裏地がないのが特徴。裏地がないため耐久性が弱く、汗によるベタつきを感じやすくなっています。価格が安いこと、軽いことがメリットになっています。ファストハイクなど速さを重視する人、超軽量を求める方、荷物を軽くしたい方にオススメです。

※本体生地に貼り付けられていない。

アクセサリ



スパッツ (ゲイター)

雨や砂利から足元を守ります。



レインハット

視界を保ったまま頭部を雨から守ります。

雨が多くて景色が良い場所(屋久島など)に行く時にオススメです！



レイングローブ

手を雨から守ります。寒い時は二枚重ねにしても◎



防水バッグ

衣類や携帯電話など、雨から守ります。



ザックカバー

荷物全体を雨から守ります。

レインウェアは種類によっては

ご家庭で洗うことができます。

洗濯によって撥水性の回復につながります。

使用後はマメに洗って長くレインウェアを使いましょう。

お手入れ方法

① 洗濯機に入れる前に

ウェアのジッパーやベルクロをすべて閉じて下さい。開いたまま洗濯機に入れると、生地や他のウェアを傷つけることがあります。



② 洗濯機に入れましょう

洗濯機に入れて、ぬるま湯(40℃以下)で洗ってください。

粉洗剤や柔軟剤、漂白剤、シミ抜き材は使用しないでください。表面に洗剤が残っていないか必ず確認しましょう。そのまま干すと色むらになってしまうことがあります。

撥水透湿素材それぞれに専用の洗剤を開発しているブランドもあります(ケアファイン(ファイントラック)やニクワックスなど)。自分のレインウェアに合った洗剤を使うのがオススメです。

③ 乾燥させましょう

【乾燥機の場合】

温度設定できるものは「標準」ウェアが乾いたら20分以上温風で乾燥機にかけると撥水回復につながります。

【自然乾燥の場合】

日陰で吊り干し後、完全に乾いてから、アイロン(80~120℃/スチームなし)をかけてください。あて布をしてかけると撥水回復につながります。



保管方法

スタッフバッグなどに入れたままにせず、ハンガーに吊るして保管しましょう。※収納小屋や直射日光や湿度の高い場所は避けましょう。

修理

小さな破れや刺し傷は「リペアキット」を使ってご自分で修理することが可能です。

応急処置用のシールとアイロンでウェアの内側から熱で圧着するタイプのものがあります。

大きな穴あき、ファスナー破損などはメーカーに依頼しましょう。



SWEN_OUTDOORSHOP

@swen_outdoor